

ROBICON 近畿地区大会

高専ロボコン

今年度は7年振りに本校が担当校として「高専ロボコン2012近畿地区大会」を11月4日(日)に大和郡山市総合公園施設 多目的体育館にて開催しました。

当日は入場者数が関係者も含め1,200人を超え、多くの方々に満足していただける大会となりました。

大会運営委員長 谷口校長先生より

本校はロボコン全国大会の常連校になりつつあります。この陰には、チームワークの良さ、先輩から受け継いだ高い技術力、教職員の支援があります。今年も「ものづくり工房」にはいつも学生がいて、ロボットの作製に夢中に取り組んでいました。そして半年間の努力の結果、Aチーム、Bチーム共に近畿地区大会で優勝が狙える高い性能のロボットを作り上げ、そして何百回と練習を積み重ねてきました。試合では、残念ながら優勝チーム(和歌山高専



開会式の様子

A)に僅差で敗れましたが、ビットでロボットの調整に全員が協力していた様子を見て、とても頼もしく感じました。勝負は時の運。

この半年間、大きな目標に向けて数々の壁を乗り越えてきた経験は、今後の人生において大いに役立つことでしょう。

全国大会では、Bチームが近畿地区代表として活躍することを祈念しています。



Aチーム「iRod」



Bチーム「MechaPon」



選手宣誓をする荒川君



吹奏楽部によるアトラクション演奏

高専ロボコン近畿地区大会を終えて

電子制御工学科5年 荒川 周造

11月4日、本校主幹で高専ロボコン近畿地区大会が開催されました。今年が高専ロボコン25周年の記念すべき年でもあり、地元大和郡山市で多くの方に見守られ、大会に参加できたことを大変嬉しく思います。

今年のテーマ「ベスト・ペット」は、ペット・ロボットが高専生と協力し、玉入れをします。しかも、高専ロボコン初のコントローラーなしでの競技です。

1回戦第2試合、奈良高専Aチーム「iRod」は和歌山高専A

チームと対戦。惜しくも4秒差で敗れましたが、ベスト・ペット賞を受賞しました。一方、奈良高専Bチーム「MechaPon」は決勝まで勝ち進みました。結果は和歌山高専Aチームに先にゴールされ、準優勝となりましたが、審査員推薦によって全国大会へ出場することになりました。全国大会での更なる活躍を心より祈ります。

最後になりましたが、私達をご指導してくださいました先生方をはじめ、ご支援、ご協力してくださいました全ての皆様方に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

